

講義名称	文化社会学	担当教員名	稲見 直子
科目群	社会科学		
科目区分等	社会	単 位	2
対象学年次	1年・秋	ナンバリング	SOC185

授業のキーワード	現代文化、メディア文化、日常文化
授業の概要	本授業では様々な文化現象を取り上げ、「文化」を通じてその背後にある社会について考えます。
期待される学習成果（目標）	1. 様々な文化現象を読み解く力が身に付きます。 2. 文化を多角的にとらえる視点を養います。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	イントロダクション	「文化」とは何かを考えます。
2	都市文化	「都市的なるもの」を通じて、都市文化とは何かを考えます。
3	消費文化	消費文化が人びとの生活に与えた意味について考えます。
4	グローバル文化	グローバル化と文化について考えます
5	文化と権力	文化と権力の関係について考えます。
6	ケータイ・スマホ	若者のケータイ・スマホ文化について考えます。
7	映像	「見ること」「撮ること」「撮られること」から、映像文化を考えます。
8	ポピュラー音楽	「生産ーテクストー受容者」の観点から、ポピュラー音楽について考えます。
9	マンガ・雑誌	マンガの文化的特性について考えます。
10	インターネット	インターネットの文化的特性について考えます。
11	スポーツ	文化政策の観点から、オリンピックについて考えます。
12	ファッション	ファッションと流行について考えます。
13	観光	文化と観光の結びつきについて考えます。
14	愛と性	文化としての「愛」と「性」について考えます。
15	ふりかえり	授業を振り返り、要点を確認します。

定 期 試 験	定期試験は実施しませんが、授業内のコメントシートと期末レポートを実施します。
授 業 時 間 外 学 習	参考文献を用いて予習（用語確認）と復習（内容確認）を行うこと。
評 価 方 法	コメントシート（40%）、期末レポート（60%）
使用する教科書（必ず購入してください）	適宜、レジメと資料を配布します。
参 考 文 献	井上俊編，2014，『全訂新版現代文化を学ぶ人のために』世界思想社。